

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会	講義	2	大西 慎也

【授業のテーマ及び到達目標】

1. 小学校社会科の授業を開発、実践するために必要な、地理的分野、歴史的分野、公民的分野に関する知識を習得する。
2. 空間軸・時間軸・社会軸による社会認識形成の過程において働く「思考」「判断」について理解する。

【授業の概要】

小学校社会科で扱う内容である、地理的分野、歴史的分野、公民的分野に関する講義を行う。社会諸科学の最新の研究成果を理解する。また、社会認識が空間軸・時間軸・社会軸に応じて形成されることを、それぞれの分野の講義において事象を探究し理解する。

【全体の授業計画・内容】

1. 小学校社会科の内容構成と授業構成理論の特徴
2. 社会認識のしくみ
3. 地理的見方・考え方(地理的事象を認識するしくみ)
4. 日本の諸地域と地理的環境
5. 日本の産業構造
6. 地図の利用
7. フィールドワークについて
8. 歴史を学ぶ意味
9. 日本列島における歴史(原始～古代)
10. 日本列島における歴史(中世～近世)
11. 日本列島における歴史(近代～現代)
12. 歴史上の人物と文化財
13. 国内・海外時事問題
14. まとめ①
15. まとめ②(社会的論争問題について)

【準備学習の内容】

予習のあり方: 毎時間配布する予習プリントに取り組んでくること。

学習のあり方: 意欲的に講義に参加し、より多くの知識を習得しようとすること。

復習のあり方: その日に学んだことをノート等に整理すること。

【成績評価】

最終まとめの課題 50%

毎時間の小テストとリフレクションカードのコメント 50%

以上の項目により総合的に評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

小テストやリフレクションカードには、必ずコメントをつけて次時に返却する。

【テキスト】

特になし(プリントを配布する)

【参考文献】

原田智仁『社会科教育のルネサンス』保育出版社 2016.4